

## 審議テーマ

## 2040年代を視野に入れた東京の中長期的な福祉施策の在り方

人口構造・社会構造の急速な変化や地域生活課題の複雑化・複合化に加え、コロナが顕在化させた課題や、デジタル化の一段の加速も踏まえ、福祉施策を中長期的な視点から構築し直していくことが必要

## 審議テーマ背景

令和3年度に新型コロナウイルス感染症が各福祉分野に及ぼした影響や課題、今後の展望等について委員発表及び議論を行った。

## 【人口構造・社会構造の急速な変化】

- ・ 人口減少、少子高齢化の一層の進展
- ・ 2040年代、団塊ジュニア世代が後期高齢者に
- ・ 医療・介護需要の急増 ・ デジタル化の加速

## 【地域生活課題の複雑化・複合化】

- ・ 従来の制度では対応困難なリスクの増大



## 【新型コロナが顕在化させた課題】

- ・ 高齢者や家族が直面する問題が深刻化
- ・ 経済的な活動の制約に伴う収入の低下・損失
- ・ 地域福祉活動の休止による孤立
- ・ 深刻な男女格差が露呈
- ・ ITリテラシーの問題が表面化

## 令和4年度 委員・臨時委員発表

「2040年代を展望した今後の福祉施策の展開」をテーマに、委員・臨時委員から各専門分野の見地から、「分野横断的な取組」「担い手不足を視野に入れた人材育成」「デジタル活用やバーチャル活用」等を可能な限り盛り込んでいただき、発表及び議論を行った。